

平成 23 (2011) 年度 教員活動報告書 (1/7)

学部・学科	臨床心理学部・臨床心理学科	職名	教授	氏名	川 畑 直 人
学歴	昭和59年 3月 京都大学教育学部 卒業 昭和61年 3月 京都大学大学院教育学研究科 (修士課程) 教育方法学専攻 修了 昭和62年 4月 京都大学大学院教育学研究科 (博士課程) 教育方法学専攻 中退 平成13年10月 William Alanson White Institute (Child and Adolescent Psychotherapy Training Program) 卒業 平成13年11月 William Alanson White Institute (Psychoanalytic Training Program) 卒業				
学位	平成11年 3月 教育学博士 (京都大学 論教博第81号)				
専門分野	精神分析学、ロールシャッハ・テスト、非行臨床				
専門資格	臨床心理士 (0856号)				
所属学会	昭和60年 4月 日本教育心理学会 日本心理臨床学会 昭和62年 9月 日本心理学会 日本犯罪心理学会 平成 9年 5月 日本ロールシャッハ学会 平成18年10月 日本精神科診断学会				
受賞					
担当 授業科目	学 部 臨床心理学演習、臨床心理学研究法演習Ⅰ、臨床心理学総合演習Ⅰ、臨床心理学実践演習 (夢分析4)、非行と犯罪の心理学、対人関係精神分析学、心理統計学 ----- 大学院 犯罪臨床心理学特論、臨床心理面接特論C、心理療法特演Ⅰ-B、臨床心理学特演Ⅰ-A・Ⅰ-B、臨床心理学特演 -A・-B				
論文指導	論文指導担当 [主査] (卒論 : 18名、修士論文 : 2名) 論文審査担当 [副査] (卒論 : 7名、修士論文 : 7名)				
教育実績 (FD 活動)	演習の授業において、パワーポイントによる発表を奨励し、発表のためのパワーポイント作成や、パワーポイントを使った発表の仕方を指導した。発表内容をスライドにまとめることにより、要点をまとめ、整理することができるとともに、レジユメの棒読みに頼らず、柔軟にパフォーマンスができる能力が高まった。				
その他の 教育実践 活動実績	FRO (本学・フィールドリサーチオフィス) の地域貢献活動として、発達障害をもつ児童に対するグループセラピーを組織し、年度内に2クール、計20回のセッションを行った。セラピーを担当するのは大学院の学生であり、自らセッションのプログラムを企画し、実施していくことにより、心理臨床の実践をより主体性を持って学ぶ環境を作り出すことができている。				
H23 年度 研究課題	学 部 発達障害児童に対する心理教育プログラムの開発と実施 大学院 (博士前期課程) 東北大震災の被災者に対する心理学的支援のあり方に関する研究 大学院 (博士後期課程) 精神分析的組織コンサルテーションに関する研究				
平成 23 年度 研究 活動 の 概要	学部 発達障害児童に対する心理教育プログラムの開発と実施 発達障害をもつ児童に対するグループセラピーを組織し、年度内に2クール、計20回のセッションを行った。参加児童は6名で、うち4年生の4名が平成23年度をもってグループを卒業した。今年度から、FROの地域貢献活動として行うことになったので、教室のアレンジなどセラピー環境の整備をより主体的に行う必要があり、その条件下で有意義なグループを行うことができたという実績を積むことができた。				

平成 23 (2011) 年度 教員活動報告書 (2/7)

<p>平成二十三(2011)年度の研究活動の概要 つぎ</p>	<p>大学院(博士前期課程) 東北大震災の被災者に対する心理学的支援のあり方に関する研究 KIPP(京都 精神分析・心理療法 研究所) 精神分析協会災害対策委員会が組織化する心理支援活動「花届け人・京都」を主宰し、福島県における災害時の心理的ケアに取り組んだ。福島県においては、おもに楢葉町の住民に対する福祉事業に参画し、談話会の企画、相談員に対する研修、コンサルテーション、訪問活動への同行などを通し、心理的支援の提供に努めた。またこうした実践に基づきながら、システム・心理力動論的アプローチという理論モデルを考案しつつある。</p> <p>大学院(博士後期課程) 精神分析的組織コンサルテーションに関する研究 本学・産業メンタルヘルス研究所の新規事業として、ニューヨークから組織コンサルタントを招聘し、第二回目のワークショップとセミナーを開催した。今年度は、リーダーシップとチームワークに焦点を当てたプログラムを用意し、講師として参加した。また、昨年度に導入した知識をもとに、依頼のあった病院などで、組織開発のための研修を企画し、実施した。日本における研修に活用することで、コンサルテーションの有効性を確認することができた。</p>
<p>平成二十三(2011)年度の主な研究成果等</p>	<p>(著書)</p> <p>(論文)</p> <p>(学会報告、学会活動)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定討論「対人関係論の鍵概念を取り上げる サリヴァンのDetailed Inquiry(詳細な質問)」、平成23年6月、第5回精神分析的な心理療法フォーラム、甲南大学222教室 2. 「精神分析的な心理療法における共感の意味」(シンポジスト)、平成23年6月、第5回精神分析的な心理療法フォーラム、甲南大学甲友会館 3. 「災害と精神分析 東日本大震災と原発事故を巡って」(シンポジスト)、平成23年6月、第5回精神分析的な心理療法フォーラム、甲南大学 4. 指定討論「対象関係論から関係精神分析へ」、平成23年11月、日本精神分析学会第57回大会、名古屋国際会議場 5. 学術講演「統合失調症者に対する精神分析的な心理療法の可能性について ~ 対人関係論の視点から ~」、平成24年3月、比治山大学心理相談センター対人関係セミナー、比治山大学6号館 <p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「精神分析的な心理療法入門(1)」(講師)、平成23年6月、京都精神分析心理療法研究所(KIPP) 対人関係精神分析セミナー、キャンパスプラザ京都 2. 「もうひとつの自我心理学としての対人関係論」(講師)、平成23年12月、京都精神分析心理療法研究所(KIPP) 対人関係精神分析セミナー、キャンパスプラザ京都 3. 「対人関係精神分析のパイオニアたち」(シンポジスト)、平成24年2月、京都精神分析心理療法研究所(KIPP) 対人関係精神分析セミナー、キャンパスプラザ京都 4. 「花届け人・京都Hanatodokebito-Kyoto」、共著、平成24年3月、『心理臨床の広場』Vol.4No.2 (p.34) <p>(調査活動)</p> <p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>(学内活動)</p> <p>産業メンタルヘルス研究所所長、大学運営会議委員、自己点検・評価委員会委員、産業メンタルヘルス研究所運営会議委員、共通教育委員会委員、就業力育成支援委員会委員</p>
<p>平成二十三(2011)年度の社会における活動</p>	<p>(NPO 法人等の団体への参画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財団法人日本臨床心理士資格認定協会評議員「平18.4より」 ・ 社団法人日本心理臨床学会代議員「平22.4より」 <p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成23年 4月 株式会社ベネシス 職場の危機とメンタルヘルス(講師)、於:ベネシス</p> <p>平成23年 6月 京都府新任管理者メンタルヘルス研修(講師)、於:京都府職員研修・研究支援センター</p>

平成 23 (2011) 年度 教員活動報告書 (3/7)

平成二十三年(2011)年度の社会における活動 つづき	<p>(自治体や企業における研修等の講師 つづき)</p> <p>平成23年 7月 1. 広島カウンセリング・スクール一般コース「精神分析概論」(講師) 於: 中国新聞社7階 2. 広島カウンセリング・スクール専門コース「対人関係精神分析入門」(講師) 於: 中国新聞社7階</p> <p>平成23年 8月 向日市役所 生涯学習課 人権研修会「災害時の心のケアとはなにか ~ 阪神淡路大震災と3.11後福島の実験を踏まえて」(講師) 於: 向日市民会館第1会議室</p> <p>平成23年 9月 京都中央看護保健専門学校 職員研修「防衛機制について」(講師) 於: 京都中央看護保健専門学校</p> <p>平成23年10月 1. 医療法人稲門会いわくら病院 管理監督者の危機介入能力を高める啓発研修(講師) 於: いわくら病院 2. 医療法人神甲会隈病院 メンタルヘルス研修会(講師) 於: 隈病院 3. 社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院 3年目職員研修会(講師) 於: 桂病院</p> <p>平成23年11月 彦根・愛知・犬上地区青少年対策連絡会議「発達障害児(者)の支援を考える ~ ひきこもりや非行、犯罪など社会不適応状態の理解~」(講師) 於: 甲良町公民館</p> <p>平成24年 3月 佛教大学臨床心理学研究センター スタディ・デイ「対人関係論の基礎」(講師) 於: 佛教大学臨床心理学研究センター</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本犯罪心理学会理事「平21.4より」 ・ 児童心理療育施設ひびきスーパーヴァイザー「平18.4より」
平成十八(2006)年度の主な研究成果等	<p>(著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「非行」、共著、平成18年8月、朝倉書店、伊藤美奈子編、思春期・青年期臨床心理学(pp.118-131) 2. 『臨床心理学 心の専門家の教育と心の支援』、共著、平成21年7月、培風館、共著者: 鑑幹八郎、心理学の世界 基礎編8(249p): 2章 心理臨床の面接の意義と機能(pp.25-32)、3章 精神分析(pp.33-46)、4章 発達論的な精神分析理論と心理面接(pp.47-62)、5章 クライアント中心療法(pp.63-72)、6章 行動論的心理療法(pp.73-88)、7章 集団心理療法(pp.89-104)、8章 家族療法(pp.105-118)、9章 子どもの心理療法(pp.119-136)、10章 臨床心理的地域援助(pp.137-152)、11章 心理査定・アセスメント(pp.153-192) <p>(論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「From Seed to Transplant: The Foundation of a Psychoanalytic Institute in Japan.」、単著、平成21年7月、Contemporary Psychoanalysis, Volume 45, Number 3. (pp.406-414) 2. 「私にとってのサリヴァン・パーソニフィケーション」、単著、平成22年12月、星和書店、治療の聲第11巻第1号(pp.37-40) <p>(学会報告、学会活動)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自主シンポジウム「生活と心理臨床: 児童福祉施設での心理臨床の可能性」(指定討論者)、平成18年9月、日本心理臨床学会第25回大会、関西大学 2. 学会発表「非定型精神病のロールシャッハ指標の特徴 統合失調症との比較において」、平成18年10月、第26回日本精神科診断学会、芝蘭会館、 3. 学会発表「軽度発達障害児を対象とする心理教育的支援プログラム(すきっぷプログラム)の作成」、共同、平成19年9月、共同発表者: 鈴木史子、倉西宏、福井咲月、尾谷健、日本心理臨床学会第26回大会、東京国際フォーラム 4. 国際交流委員会企画シンポジウム「外国で学んだ日本人心理臨床家から セラピー力を高めるために」(シンポジスト)、平成19年9月、日本心理臨床学会第26回大会、東京国際フォーラム 5. 「大災害時の心理学的援助; 阪神・淡路大震災と米国同時多発テロ事件での経験を踏まえて」(シンポジスト)、平成19年11月、第54回日本法医学会近畿地方会、滋賀医科大学 6. 学会発表「Difficulty in teaching clinical psychology in Japan」、単独、平成20年7月、The Third International Conference on the Teaching of Psychology (ICTP-2008), St. Petersburg Hotel, Russia

平成 23 (2011) 年度 教員活動報告書 (4/7)

(学会報告、学会活動 つづき)

7. 自主シンポジウム「ジェンダーコンシャスなアプローチ(5) 病院臨床からみるジェンダー」
(指定討論者) 平成21年9月、日本心理臨床学会第28回大会、東京国際フォーラム

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

監訳：

1. サンドラ・ビューチュラー著「精神分析臨床を生きる 対人関係学派からみた価値の問題」
共訳、平成21年5月、創元社、264p

書評：

1. 「狩野力八郎著 方法としての治療構造論 - 精神分析的な心理療法の実践」、単著、平成22年12月、
金剛出版、臨床心理学第10巻 第3号 (p.481)

エッセイ：

1. 「道免論文へのコメント」、単著、平成21年3月、甲南大学臨床心理研究(甲南大学カウンセリング
グループ紀要)17号 (pp.63-65)
2. 「査定業務に内在する治療的契機」(コメント)、単著、平成21年12月、金剛出版、竹内健児編、
事例でわかる心理検査の伝え方・活かし方 (pp.191-200)
3. 「詳細な質問 / 同形変容 / 精神分析は心理療法がしくじるところで成立する」、単著、平成22年5
月、金剛出版、臨床心理学第10巻第3号 (pp.461-463)
4. 「第4章 教育事業報告」、単著、平成22年3月、京都文教大学産業メンタルヘルス研究所レポート
第2号 (pp.67-73)

学術講演：

1. 「フロイトを読む 第6回 ドーラの症例と転移概念の変遷」(講師)、平成18年10月、京都 精神
分析・心理療法 研究所(KIPP)対人関係精神分析入門セミナー、ぱるるプラザ京都
2. 「非行臨床と精神分析に接点はあるのか；対人関係論の視点から」(講師)、平成19年2月、日本犯
罪心理学会研究委員会中部地区研究会愛知県女性総合センター ウィルあいち
3. 「サリヴァンと対人関係学派」(講師)、平成19年5月、第 期大阪精神分析セミナー、大阪国際会議場
4. 「精神分析的な心理療法とは何か」(シンポジスト)、平成19年12月、第1回精神分析的な心理療法フォ
ーラム全体会、甲南大学
5. 「カウンセリングを精神分析的な心理療法にするために 学派の違いがどのような影響を及ぼすの
か」(企画者・シンポジスト)、平成19年12月、第1回精神分析的な心理療法フォーラム分科会、甲
南大学
6. 「対人関係論を語る；対人関係は心の源なのか」(講師)、平成20年2月、第 期大阪精神分析セミ
ナー、大阪国際会議場
7. 「イニシャルインタビューにおける詳細な質問detailed inquiry」(講師)、平成20年2月、2007年度
KIPP対人関係精神分析入門セミナー、ぱるるプラザ京都
8. 「子どもの援助に係わる心理士業務の”座標軸”」(パネラー)、平成20年3月、大阪府社会福祉協
議会児童施設部会主催cocoro-net@osaka'08、大阪府社会福祉会館3階第2会議室
9. 「認知療法を読む」、平成21年1月、2008年度KIPP対人関係精神分析セミナー、キャンパスプラザ
京都
10. 家庭裁判所調査官 第40回カウンセリング研究会、平成21年1月、エルおおさか
11. 「臨床的鑑別業務にとって精神分析的な観点は有効か？；対人関係学派の立場から」、平成21年3
月、平成20年度日本犯罪心理学会地区研究会、大阪少年鑑別所
12. 「精神分析的な心理療法における価値と中立性」(司会・通訳)、平成21年5月、第3回精神分析的な心
理療法フォーラム全体会、京都文教大学
13. 「対人関係論の基礎の基礎 第2弾 Dr. Sandra Buechlerによる対人関係精神分析技法論」(司会
・通訳)、平成21年5月、2009年度KIPP対人関係精神分析セミナー、コープイン京都
14. 「Dr. Jack Drescherによる一日臨床講義+セミナー「セクシャリティと精神分析」」(司会・通訳)
、平成21年9月、AGP(同性愛者医療・福祉・教育・カウンセリング専門家会議共催 2009年度KIPP
対人関係精神分析セミナー、エル・おおさか

平成十八～二十一(2006～2010)年度の主な研究成果等

平成 23 (2011) 年度 教員活動報告書 (5/7)

平成十八～二十一(2006～2010)年度の主な研究成果等	<p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等 つづき)</p> <p>15. 発表内容「施設心理士の明日に向けて」(助言者) 平成21年11月、第6回西日本児童養護施設職員セミナー近畿ブロック(大阪)大会第5分科会「施設心理士の役割 求められるもの・めざすもの」, 全日空ゲートタワーホテル</p> <p>16. 「レーヴェンソン流 = 対人関係論の展開」(講師) 平成22年1月、2009年度KIPP対人関係精神分析セミナー、キャンパスプラザ京都</p> <p>17. 「パーソンとしての治療者」(講師) 平成22年3月、大阪精神療法・心理療法研究会主催、2009年度第 期大阪精神分析セミナー 精神療法家・心理療法家のためのセミナー、大阪国際会議場</p> <p>18. 「レーヴェンソン流 = 対人関係論の展開」(講師) 平成22年2月、KIPP対人関係精神分析セミナー、キャンパスプラザ京都</p> <p>19. 「パーソンとしての治療者」(講師) 平成22年3月、2009年度第12期大阪精神分析セミナー、大阪国際会議場</p> <p>20. 「精神分析的な心理療法入門(2)技法編」(講師) 平成22年7月、KIPP対人関係精神分析セミナー、キャンパスプラザ京都</p>
	<p>(調査活動)</p> <p>平成22年度 A社における新入社員の職場適応とメンタルヘルスに関する調査</p>
	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>(学内活動)</p> <p>平成18年 4月 入試実行委員会委員「平20.3まで」</p> <p>平成19年 4月 海外出張助成調整委員会委員「平21.3まで」</p> <p>平成21年 4月 産業メンタルヘルス研究所副所長「平22.3まで」 産業メンタルヘルス研究所運営会議委員「現在に至る」 共通教育委員会委員「現在に至る」</p> <p>平成22年 4月 産業メンタルヘルス研究所所長「現在に至る」 大学運営会議委員「現在に至る」 自己点検・評価委員会委員「現在に至る」</p>
平成十八～二十一(2006～2010)年度の社会における活動	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <p>平成21年 2月 2008年度第2回京都府児童相談所心理判定員会議、於：京都府庁</p>
	<p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <p>平成 5年 9月 奈良少年院篤志面接委員「平21.2まで」</p> <p>平成17年 4月 大阪保護観察所直接処遇班スーパーヴァイザー「平19.3まで」</p> <p>平成17年 5月 京都刑務所篤志面接委員「平18.9まで」</p> <p>平成18年 4月 財団法人日本臨床心理士資格認定協会評議員「現在に至る」</p> <p>平成22年 4月 社団法人日本心理臨床学会代議員「現在に至る」</p>
	<p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成18年 7月 広島カウンセリングスクール・専門コース「臨床現場に生かす対人関係精神分析の視点」(講師) 於：中国新聞ビル</p> <p>平成19年 2月 調査官研修会「性非行についての精神分析的な理解と処遇実践」(講師) 於：神戸家庭裁判所尼崎支部</p> <p>平成19年 3月 関西カウンセリングセンターカウンセラー適任証更新のための継続研修会「カウンセリングを精神分析的にする方法；対人関係学派の視点から」(講師) 於：PLP会館</p> <p>平成19年 6月 1. 日本臨床心理士会第2回私設心理相談研修会「私設開業と訓練」(講演者・シンポジスト) 於：大正大学 2. 京都府臨床心理士会継続研修グレード 「精神分析的発達論」(講師) 於：コープイン京都</p>

平成 23 (2011) 年度 教員活動報告書 (6/7)

平成十八〜二十二(2006〜2010)年度の社会における活動 (つづ)	(自治体や企業における研修等の講師 つづき)	
	平成19年 7月	1. 京都府臨床心理士会継続研修グレード 「対人関係論」(講師) 於: コープイン 京都 2. 平成19年度広島カウンセリングスクール一般コース「精神分析概論」(講師) 於: 中国新聞ビル 3. 平成19年度広島カウンセリングスクール専門コース「非行・犯罪の心理臨床と精神分析的視点」(講師) 於: 中国新聞ビル
	平成19年 9月	平成19年度佛教大学学生相談室スタッフ研修会「精神分析的な心理療法の実践と学生相談」(講師)
	平成19年11月	第2回北摂合同研修会「子どもを見る視点を広げる 直接援助職と心理職との連携と役割について」(スーパーヴァイザー) 於: 大阪水上隣保館地域交流センター
	平成20年 1月	1. 平成19年度第2回私設心理職研修「施設現場における心理治療」(講師) 於: 大阪府社会福祉会館5階第1会議室 2. 枚方市児童虐待問題研修会「虐待ケースにおける親の理解と家族の見立て(アセスメント)」(講師) 於: ラポール枚方4F大研修室
	平成20年 3月	京都府臨床心理士会継続研修グレード 補填研修会(講師) 於: コープイン京都
	平成20年 7月	1. 広島カウンセリング・スクール一般コース「精神分析概論」(講師) 於: 中国新聞社7階 2. 広島カウンセリング・スクール専門コース「コミュニティ心理学と対人関係論」(講師) 於: 中国新聞社7階
	平成20年 8月	島本町立第二中学校内研修会「特別支援に関わる生徒への対応について」 於: 島本町立中学校図書館
	平成20年10月	平成20年度近畿ブロックエイズカウンセリング研修会、於: 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター緊急災害医療棟2階視聴覚室
	平成20年12月	第21回私立大学職員「人間ネットワーク」, 「私立大学「働き場」のメンタルヘルス」(講師) 於: 京都文教大学
	平成21年 7月	広島カウンセリング・スクール講義「精神分析概論: 臨床現場に生かす対人関係精神分析の視点」(講師) 於: 中国新聞ビル会議室
	平成21年11月	1. 平成21年度全国情緒障害児短期治療施設職員研修会心理治療部会研修会「情緒障害児短期治療施設で精神分析的観点を生かせるのか 対人関係学派の立場から」(講師) 於: 社会福祉法人大阪水上隣保館 2. 神戸家庭裁判所尼崎支部調査官研修会「離婚が子どもに及ぼす影響について」(講師)
	平成22年 7月	1. 広島カウンセリング・スクール一般コース「精神分析概論」(講師) 於: 中国新聞社7階 2. 広島カウンセリング・スクール専門コース「非行・犯罪の心理臨床と精神分析的視点」(講師) 於: 中国新聞社7階
	平成22年 9月	平成22年度第3回河内会心理士研修会「施設で心理士が働くということ」(講師) 於: 修徳学院
	(その他)	
	平成18年 4月	児童心理療育施設ひびきスーパーヴァイザー「現在に至る」
	平成19年 2月	1. 第1回処遇困難事例検討会議(講師) 於: 大阪府立修徳学院 2. 第2回処遇困難事例検討会議(講師) 於: 社会福祉法人高津学園信太学園 3. 第1回処遇困難事例検討会議「盗癖のある子どもへの理解と対応」(講師) 於: 社会福祉法人児童養護施設武田塾
	平成20年 2月	大阪府立修徳学園平成19年度第2回処遇困難事例検討会議「施設不適応状態を呈した中3女子M」(講師) 於: 大阪府立修徳学園

平成 23 (2011) 年度 教員活動報告書 (7/7)

平成十八(2006)年度の 社会における活動 つづき	(その他 つづき) 平成20年11月 Thursday Colloquium of CAPTTP 「 Does Mind Grow in Peer? 」 , the William Alanson White Institute
	平成20年12月 1. 大阪府立修徳学園平成20年度第1回処遇困難事例検討会議「被虐待と非行 集団生活で協調性に欠ける中1女兒」、於：大阪府立修徳学園 2. 大阪府立修徳学園平成20年度第2回処遇困難事例検討会議「児童養護施設から措置変更された、知的障がいを伴う小6男児」、於：大阪府立修徳学園
	平成21年 4月 日本犯罪心理学会理事「現在に至る」
	平成22年 3月 1. 京都文教大学教育臨床講座「教育現場における臨床心理的理解と対応：5. 青年期の性と非行」(講師) 於：京都文教大学 2. cocoro-net@osaka2010 「失敗 その原因と修復の仕方」(講師) 於：大阪府社会福祉会館
	平成23年 1月 広島いのちの電話主催自殺予防いのちの電話公開講演会「別れが生み出す出会い、出会いが支える別れ」(講師) 於：中区地域福祉センター